



学校便り

<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>



「新学期を迎えました」

校長 村山 大介

保護者のみなさまにおかれましては、本校の教育活動に御理解御協力いただきありがとうございます。保護者のみなさまにおかれましては、本校の教育活動に御理解御協力いただきありがとうございます。

本日、2学期の始業式を行いました。日焼けした姿、久しぶりの学校で友達と会い嬉しそうにしている様子を見て、安心しました。6月から夏を思わせるような高温の日が続き、夏季休業日中も猛暑日が続くという気候の中、元気に過ごせたことはとても良かったと思います。

始業式の前後で各教室を回り、夏季休業中の様子などを尋ねました。家族との外出や旅行、郷里への帰省、日常生活、部活動の様子など楽しそうに話す姿が印象的でした。

いよいよ2学期がスタートしました。1学年はさっそく「移動教室」があります。しっかりと準備し、学級の仲間と移動教室の生活を楽しむことが目標です。10月は「校内実習」です。将来の進路を見据え、しっかりと取り組んでほしいと思います。2学年は2回目のトライアウト実習があります。1学期の実習を振り返り、得られたことをぜひ活かしてください。3学年は現場実習があります。卒業後の社会での生活に向けた準備を着々と進めていかなければいけない大事な時期です。学校全体では12月に学習発表会があります。日頃の努力の成果を保護者のみなさまにぜひ見ていただきたいと思います。

2学期は日頃の学習活動以外にも様々な行事や取組が予定されています。健康で安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、教職員が一つとなって努めてまいります。引き続き御理解御協力をお願いいたします。残暑厳しい日々となります。保護者のみなさま、御家族のみなさまにおかれましては御身体御自愛ください。

「夏の研修会」

支援部主任 関根 和広

夏季休業中の7月31日(水)『応用行動分析による行動支援とは～事例を通じた理解～』を研修のテーマに、東京学芸大学教育学部特別支援科学講座非常勤講師の加藤慎吾先生をお招きして、本校体育館で実施しました。

加藤先生には、本校で10年以上、外部専門員として応用行動分析学に基づいた生徒の実態から、具体的な支援策を担任や関係する教員に御教示いただいております。

研修の前半は、応用行動分析学に基づく行動支援の基本的な枠組み(行動随伴性など)について、身近な自分の行動を例にして、先行事象(きっかけ)の重要性や、適切な行動に導くために必要なことなどを学ぶことができました。

後半は、2～3人のグループになって演習を行いました。演習では、適応行動の支援の事例から、適切な行動に導くためには、目標行動をどのように見出していくのが大切であり、伝えるべき行動をあらかじめ決めておくことが重要であるなど、具体的な例を比較しながら正しい支援の行い方を学びました。

今回の研修を通して、参加した方々が研修で学んだことを、日々の教育活動や支援の内容に生かしていただき、子供達のよりよい生活や更なる成長につながることを願っています。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りの配布時期と学校サイト掲載日は前後する場合があります。